

平成 26 年 第 4 回定例道議会報告

北海道議会議員 北 口 雄 幸

【所属会派】 民主党・道民連合議員会

【会派役員】 筆頭副幹事長

【所属委員会】 総合政策委員会理事、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会

【党活動】 民主党北海道副幹事長兼農林水産局長、第 6 区総支部副代表、士別ブロック支部代表

【日 程】 平成 26 年 11 月 26 日（水）～12 月 19 日（金）

【一般質問】 第 4 回定例道議会は、11 月 26 日（水）に開会、平成 26 年度道補正予算、「少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数の改善等を求める意見書」、「将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書」などを可決し、12 月 19 日（金）に閉会した。

わが会派からは、代表格質問に市橋修治議員（後志管内）が立ち、国の経済政策への対応、泊原発や大間原発等のエネルギー政策、地域対策・人口減少対策、一次産業振興、教育課題などについて質疑した。また、一般質問には笹田浩議員（渡島管内）、広田まゆみ議員（札幌市白石区）、福原賢孝議員（檜山管内）の 3 議員が立ち、当面する道政課題、地域課題について道の取り組みを質した。

【主な審議経過】 今定例会は、衆議院総選挙が、12 月 2 日公示、14 日投開票の日程で実施されたことから、一般質問を終了した時点で休会し、総選挙終了後に予算特別委員会での質疑を再開する変則的な日程で行われた。

日銀による大規模な金融緩和策によって、株高と円安ばかりを誘導する安倍政権のいわゆるアベノミクスが本道をはじめとする地域に打撃を与えていることについて、知事は「景気回復が実感できないとの声がある」などと、ひずみが生じていることは認める答弁は行ったが、それに対する、具体的な対応については「地方の消費を喚起する経済対策が必要」などと述べるにとどまった。

このほか、原発再稼働や大間原発への対応等のエネルギー政策、地域政策と人口減少対策、新幹線の本道乗り入れに伴う対処、観光振興対策、カジノ誘致への対応など、山積する重要課題への議論を展開したが、今定例会でも、知事からは、国の対応待ちばかりで、道としての主体性が一向に見えない答弁ばかりが続いた。

可決された補正予算は、電気料金再値上げに伴う緊急対策事業費など一般会計 135 億 7,300 万円、特別会計 1 億 5,100 万円。これで、26 年度道予算は、一般会計 2 兆 7,446 億円、特別会計 6,133 億円の合計 3 兆 3,579 億円となった。

なお、三津丈夫（十勝管内）、勝部賢志（江別市）の両道議が衆議院議員選挙に出馬のため、11 月 25 日に辞職した。これによって、会派所属議員は 36 人となった。

私・北口雄幸は、11 月 5 日の総合政策委員会において、「人口減少問題への対応について」、11 月 6 日の産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会では、「電気料金の再値上げについて」を質問してきた。この質問により、高齢者等の冬の生活支援事業の市町村への限度額が拡充され、電気による暖房も対象となったところだ。

【平成 26 年度補正予算】

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
前回までの予算額	2,731,045,696	613,149,867	3,344,195,563
今回補正額	13,573,476	151,632	13,725,108
合計	2,744,619,172	613,301,499	3,357,920,671

【採択された決議・意見書】（◎は政審発議、○は委員会発議）

- ◎少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数の改善等を求める意見書
- ◎若者の「使い捨て」が疑われる企業等に対する指導監督等の強化等を求める意見書
- ◎外形標準課税の中小企業への適用拡大時期等について慎重な判断を求める意見書
- ◎農業委員会改革に関し慎重な議論を求める意見書
- ◎私立専修学校に関する新学校種の創設と財源措置に関する意見書
- 将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書
- 日ロフェリー定期航路の存続支援を求める意見書
- 地域雇用政策に関する施策の充実・強化を求める意見書
- 農協系統組織の自己改革を十分尊重すること等を求める意見書

【広報等】

- * 道政報告「ゆうこう便り」の発行 2015 年 01 月（冬号）43 号
- * ホームページの開設 2007 年 7 月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>
- * FaceBook でも情報発信中 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100005834470895>

「北口ゆうこう」奮闘日記 →

